

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立兵庫小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和5年4月18日(火)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

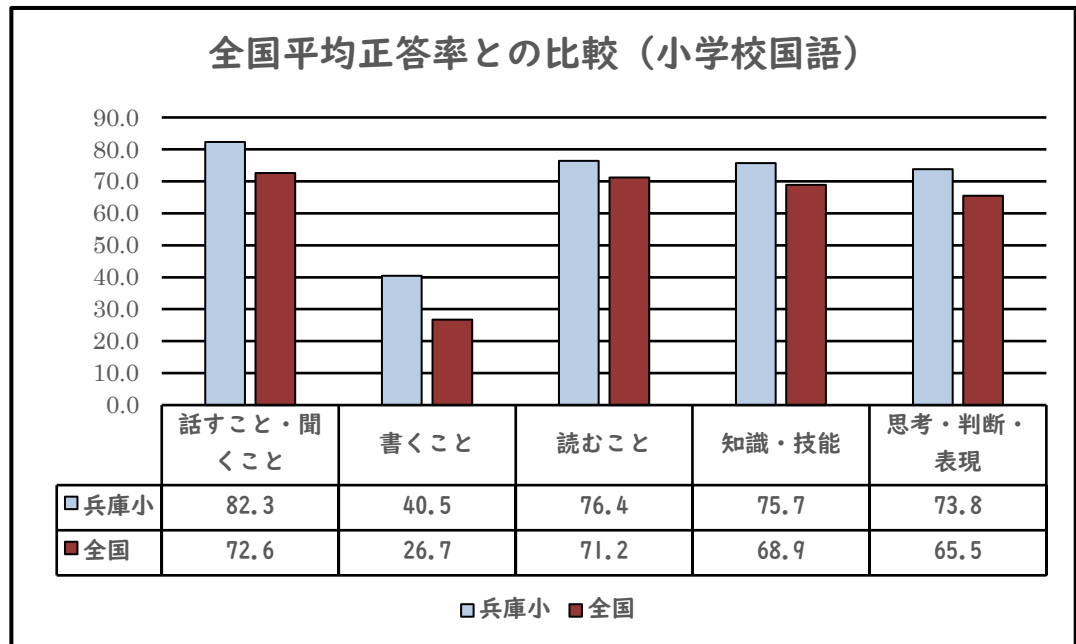
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語(中学校)に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

全ての領域において全国平均を上回る結果でした。国語科全体の結果は、75%で全国最上位の他の都道府県の平均を上回る結果となっています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「知識・技能」「思考・判断・表現」の傾向は、全国や県の傾向と同じです。

強みは、「原因と結果など、情報と情報との関係について理解している。」「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる。」です。弱みは、「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。（無解答率が5.1%で高い⇒個人差が大きい）」「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。（情報をどのように整理してあるのかについての説明を選択する問題）です。

(3) 学力向上のための取り組み

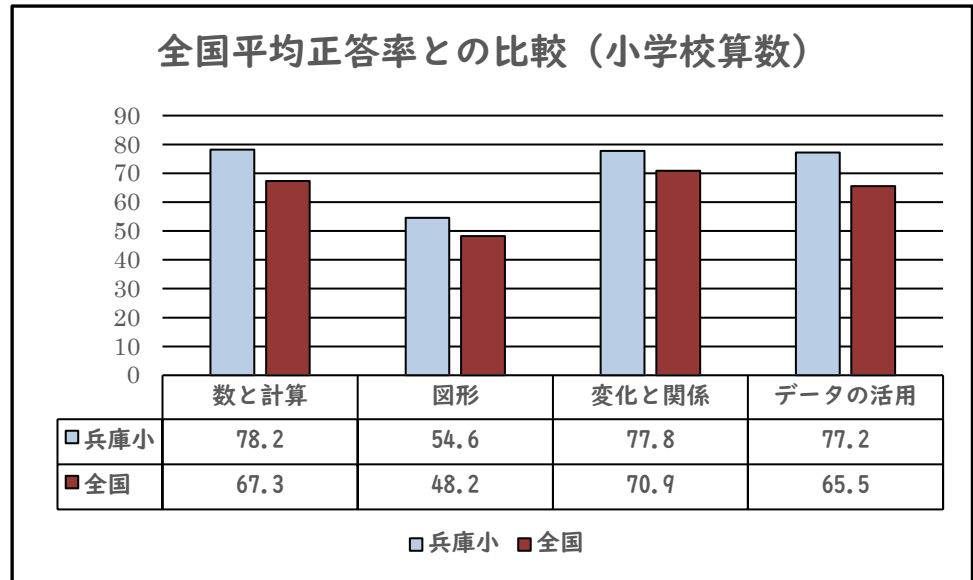
【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、「問い」「問いに対する答え」を考えさせる授業に取り組んでいます。自分の考えとその理由を明確にして友達と対話することにより、読み深めます。
- 文章全体の構成や目的・意図に合った書き表し方で、文章を整える授業に取り組めます。
- 言葉の意味、ことわざ等の学習では、辞書を活用して調べることで語彙力を高めます。
- 授業の中に、インタビュー、案内や紹介など、日常生活につながる言語活動を設定します。習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで、表現力を向上させていきます。

【ご家庭では】

- 音読を聞いて、できていること（適切な速さ・声の大きさ・正しい読み等）を見つけて褒めましょう。繰り返し音読することで、文の構成や言葉の意味を理解したり、要点や意図を捉えたりすることができます。音読は、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- 読書を大切にしましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろいろな分野の本を読み、詳しい内容や豊かな表現に触れることで、語彙力を高め、知識の幅を広げることができます。市立図書館などに定期的に行くことも、読書習慣をつける上でお勧めです。

2 算 数



(1) 結 果

全ての領域において全国平均を上回る結果でした。算数科全体の結果は、72%で全国最上位の他の都道府県の平均を上回る結果となっています。

(2) 成果と課題

強みは、「示された日常生活の場面を解釈し、求め方と答えを、式や言葉を用いて記述し、その結果が、問題の条件に当てはまるかどうかを判断できる。」「()を用いた式や加法と乗法を混合した式を場面と関連付けて読み取ることができる。」「台形の意味や性質について理解している。」です。

弱みは、「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。」となっています。また、「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する。」は、全国平均より16%高い正答率ですが、無解答率が8.2%となっており、個人差が大きいようです。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 授業では、「めあて・問題・見通し・考え・まとめ・練習・振り返り」という学習過程に沿って指導し、ノート書き方も全校で共通理解しています。特に「振り返り」では、視点を提示し、主体的に学習に取り組む態度はどうだったのか、非認知的スキル（誠実性・外向性・協調性・開放性・安定性）が身に付いてきたのかを考えさせるようにしています。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、説明力の向上に努めます。
- ノートチェック、プリント、ドリル、家庭学習課題など、日々の指導の中で個々のつまずきを早期に見つけ、補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等をご覧いただき、できていることを認め、褒めてください。
- 算数が好きになるためには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし分けて割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身のまわりには算数を使えるものが意外とあります。算数に関することを問題にして、一緒に解いていただくこともいいのではないのでしょうか。

3 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	兵庫小 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	87.1%	83.7%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	35.5%	38.1%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	65.8%	55.1%
自分にはよいところがあると思いますか。	45.2%	42.6%
先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか。	60.0%	49.9%
人が困っている時は進んで助けますか。	49.0%	45.6%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	88.4%	82.6%
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつも相談できますか。	42.6%	33.4%
学校に行くのは楽しいと思いますか。	58.1%	49.8%
読書は好きですか。	43.9%	39.4%
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	37.4%	32.0%
友達関係に満足していますか。	70.3%	63.2%
新聞を読んでいますか。	5.8%	4.3%

《家庭学習の様子》

調査の項目	兵庫小%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	40.6%	28.7%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	11.0%	11.8%
「2時間以上、3時間より少ない」	27.1%	13.8%
「1時間以上、2時間より少ない」	38.1%	31.5%
「30分以上1時間より少ない」	16.8%	26.9%
「全くしない」	3.9%	4.6%

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

○学校では、児童の承認感を高めるために、Q-U検査結果分析を生かした学級経営を継続します。児童一人ひとりの役割を考え、出番を作り、承認することができる取組を工夫します。

※Q-U検査：楽しい学校生活を送るためのアンケートのことです。（「やる気のあるクラスを作る」「いごちのいいクラスを作る」ために、児童一人ひとりの現在の状況を知ることができます。）

○家庭学習習慣を定着させるために、「家庭学習がんばろう週間」を設定して、計画的に学習する方法を身に付けさせるための取組をしています。

【ご家庭では】

○感謝の気持ちを「ありがとう。」の言葉に表しましょう。お子さんの伸びに光を当てましょう。

○叱る時は、「気付かせる」シーンを入れましょう。共感的雰囲気作りやプラスの言葉かけを心掛けましょう。

○家庭や学校のルールを守っていることを認め、褒め、勇気付けましょう。